

『2030年に向けた数値予報技術開発重点計画』の補強 の策定について

気象庁は、「『2030年に向けた数値予報技術開発重点計画』の補強」を策定しました。先端AI技術と物理モデルの両者の強みを活かし、相互補完的に併用することで、防災気象情報の高度化に貢献していきます。

気象庁では、平成30年10月に策定した「2030年に向けた数値予報技術開発重点計画」に基づき、数値予報の精度向上・精緻化のための開発を推進してきました。

近年、先端AI技術は飛躍的に発展しており、気象予測の分野においても、AI気象モデル等の先端AI技術による高い予測精度の実現が可能になりつつあります。こうした状況を踏まえ、新たに先端AI技術の活用を含めた「『2030年に向けた数値予報技術開発重点計画』の補強」を策定しました。今後は、先端AI技術と物理モデルの両者の強みを活かし、相互補完的に併用することで、防災気象情報の高度化により貢献していきます。

策定にあたり、「数値予報モデル開発懇談会」(※1)において最新の科学的な知見に基づくご検討をいただきました。またこれは、令和7年6月に交通政策審議会気象分科会において取りまとめられた、「『2030年の科学技術を見据えた気象業務のあり方』の補強～近年の社会動向を踏まえた追加的施策～」(※2)を踏まえたものです。

気象庁は、数値予報の精度向上・精緻化に向け、引き続き開発を推進していきます。

概要・本文については、別添をご参照下さい。

※1：数値予報モデル開発懇談会の掲載ページ

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shingikai/kondankai/suuchi_model_kondankai/suuchi_model_kondankai.html

※2：交通政策審議会気象分科会提言の補強の掲載ページ

https://www.jma.go.jp/jma/press/2506/27c/bunkakai_doc.html

問合せ先：情報基盤部 数値予報課 萩谷 電話 03-6758-3900（内線 3348）